



## 美郷町の観光や町内産品をPR

# 友好都市・東京都大田区で開催されたイベントに参加しました



## おおた商い観光展

大田区が、区内の様々な分野の企業に参加を呼びかけ、友好都市などと商品の情報交換や製品技術交流の場とすることを目的とした「おおた商い観光展」が10月17、18日の両日、同区産業プラザP.I.Oで開かれ、本町からも町内産品を手がける企業の皆さんが参加しました。

区内などから100社以上が参加したこの展示会。本町ブースでは、町内産品の試飲・試食と観光パンフレットの配布が行われました。開催期間中延べ6,600人が訪れ、美郷の物産と観光を知ってもらう絶好の機会となりました。

## 友好都市ふれあい広場

大田区が友好都市である長野県東御市と本町を広く区民にPRし、交流の発展を図ろうと3自治体の共催により「友好都市ふれあいひろば」が10月18、19日の両日、JR蒲田駅西口広場で開催されました。

町の自然や文化を伝えるパネル展を開いたほか、物産販売コーナーでは、町内から参加した関係者約20人が物販を展開。人通りの絶えない駅前とあって、終日たいへんな賑わいを見せていました。



## 王理恵さんが手づくり工房湧子ちゃんを訪問しました

福岡ソフトバンクホークスの前監督王貞治氏の次女で、昨年秋田県産の青果物をPRする「あきたベジフル大使」を務められている王理恵さんが、9月23日、手づくり工房湧子ちゃんを訪問しました。

今回の訪問は、かあちゃんくらぶ(谷屋勝代代表)が昨年台湾で開催された秋田フェアで「おからドーナツ」の実演販売を行った際、ご一緒したことが縁となりました。



▲王さん(写真中央)と記念撮影



10月13日、仙南公民館で水の郷シンポジウム(町主催、横手市ほか後援)が開催されました。

このシンポジウムは、生命などすべての源である水環境への関心を高め、その保全活動につなげることを目的に開催されたもので、町内をはじめ横手市、大仙市などから約300人が参加しました。

秋田大学名誉教授で六郷扇状地の地下水研究をしている肥田登さんを講師に行われた基調講演では、「地下水は循環しており、その入口(田んぼなど)と出口(清水など)の管理を行うことで、水質・水質の問題は解決する。そのためには、地域のみならずから地下水は共通の財産という意識を常にもって、積極的に保全行動を起こしてほしい」と呼びかけました。

その後、六郷中学校科学部より「六郷の清水群とハリザッコの繁殖」をテーマとした研究発表と、ボランティア活動などを通じて水環境に関わりを持つ5人の方たちが参加したパネルディスカッションが行われ、参加者は改めて美郷町が水の郷であるという意識を深めました。

# 風

## 「もう一度」

美郷町長 松田知己



▲10月18日、東京都大田区で開かれた友好都市ふれあいひろばで物販をする松田町長

松山千春さんの歌ではありませんが、「めぐる、めぐる季節の中で」、もう冬の足音がかすかに聞こえてくる頃となりました。風の冷たさに「嫌だなあ」と思う反面、おでんが美味しい時期ですので、おでん好きの私にはプラスマイナス・ゼロというところですね。

そこで思い出しました。そう言えば昨年10月、民泊した京都の国体選手にきりたんぽとおでんをご馳走したなあ。残念ながら試合に負けてしまい、集落全体で送別会を催した後に、「明日は京都に帰るんだから」と家内が準備したきりたんぽと自慢のおでん。それからもう一年です。時の流れの早さを実感します。その中で、仙台の実業団に就職した選手からは、何かの折に家内にメールが来たり、仙台で会ったりなど、僅か三泊の縁でしたが、出会いとはおもしろいものだとつくづく思います。

さて、今年の国体は大分でした。残念なが

ら県選手団は芳しい成績を上げることができず、某紙では「昨年の成果はいすこに」などの記事が掲載されておりましたが、成績が国体のすべてではありません。県選手が開催地において精一杯がんばり、成績は別にして地元の方と交流を図り、結果、秋田県に好印象を持つてもらったことも国体選手の大切な役割ではないかと思うからです。少なくとも私は、民泊以来、以前に増して京都を好きになりました。ですから、試合結果だけにとらわれないうでもらいたいと思うところです。

ということ、「国体にはいろんな側面とたくさん意義がある」と私は思っておりますが、そんな側面と意義を皆さんに更に考えてもらいたい意味で、町では今年、自転車競技とバドミントン競技の国体記念行事を準備しました。自転車競技はプロ競輪選手の協力のもと、先月終了しましたが、バドミントン競技は、今月三十日にリリオスで実業団の日本リーグを開催してもらいます。たくさんの方に観戦してもらいたいため、無料です。どうか一流選手のプレーに「もう一度」興奮してください。そして昨年の熱気を思い出してください。因みに私は今、竹内まりやの「もう一度」を聴いて原稿を書いています。

## 11月のふれあい談話室

役場千畑庁舎で開催予定でしたが、都合により開催いたしませんのでご了承ください。

### 問い合わせ

役場(六郷庁舎)総務課 秘書広報班  
☎0187(84)1111